



# WEEKLY REPORT

第2580地区 東京豊島東ロータリークラブ

創立/1986年2月19日 (会長)久保 司 (幹事)渡邊 裕之  
 例会場/〒171-8505 東京都豊島区西池袋1-6-1 ホテルメトロポリタン Tel(03)3980-1111  
 事務所/〒171-0021 東京都豊島区西池袋3-33-26-109 Tel(03)3985-7577 Fax(03)3590-6644  
 HP/http://www.toshimah-rc.jp E-mail/info@toshimah-rc.jp

**◎本日の例会 1170回 2010年10月27日**

**ガバナー公式訪問**

- 会長・幹事との打合せ 10:00~10:30
- クラブ協議会 10:30~12:00
- 例会 12:30~13:30
- 特別卓話 国際ロータリー第2580地区  
ガバナー 上野 操氏

**◎前回の例会 1169回 2010年10月20日**

**会長報告**

- ①北ロータリークラブからの北分区16クラブ合同例会の御礼状がきています。
- ②鈴木会員に当クラブの名誉会員に推薦したことを伝え、ご本人より承諾を頂きました。

**幹事報告**

- ①先月の10月12日の北分区16クラブ合同例会に多数ご参加を賜り誠にありがとうございましたとの、御礼状が北分区ガバナー補佐中川様、東京北ロータリークラブ会長、実行委員長より届いております。
- ②グリーンとしまの再生プロジェクト第4回実行委員会開催のお知らせが届いております。
- ③ROTEX 並びに国際奉仕通信創刊号が届いております。今後、毎月発行される予定です。
- ④国際基督教大学、東ヶ崎潔ダイワログハウス御献金のお願いがきております。
- ⑤当ホテルメトロポリタンのクリスマス年末のイベントのお知らせが、イベント、レストランの責任者の方より是非ご利用下さいとの事。ロータリーの特別価格でご提供を致しますとの事でした。

■ゲスト

地区米山奨学委員会副委員長 横山武志様

■ビジター

名古屋RC 中部政次郎様

■出席報告

| 会員  | 出席率<br>参加<br>会員数 | 出席数 | 欠席数 | 出席率    | 10月6日分<br>修正<br>出席率 |
|-----|------------------|-----|-----|--------|---------------------|
| 42名 | 36名              | 25名 | 11名 | 69.44% | 86.11%              |

**◎次回の例会 1171回 2010年11月10日**

**卓話** 中学生の職場体験について  
 豊島区立中学校校長会会長  
 豊島区立西池袋中学校  
 校長 飯島光正氏  
 紹介者 長井忠昌会員

**ニコニコ BOX**

月井会員/昨日、四クラブ合同邦楽同好会第24回が終わりホットしています。  
 竹内さんの、のどを始めて聞かせていただき、すばらしくて感動しました。今後の励みにします。  
 渡邊会員/先日は16クラブ合同例会、そして5クラブ対抗ゴルフ両方とも欠席で申し訳ありませんでした。  
 滝澤会員/結婚記念日のお祝いありがとうございます。  
 廣内会員/誕生日祝い、有難うございました。  
 月井さんより2日若いですから、彼の元気さには負けないように生きていきます。



ビジター中部様に  
クラブガバナーを  
お渡しする

**1169 例会 卓話**



ロータリー米山記念奨学金制度について  
 地区米山奨学委員会  
 副委員長 横山武志氏

## 第 2580 地区ガバナー 上野 操 様ご略歴

生年月日 1937 (昭和12) 年4月11日  
現住所 〒134-0084 東京都江戸川区東葛西5-14-11  
事業所 東京日本橋法律事務所  
学歴 1960年 中央大学法学部 卒業  
職業分区 弁護士

### 経歴

(弁護士会関係)

1970年 上野操法律事務所開設・同所長  
1986年度 第二東京弁護士会副会長  
1997年度 関東弁護士会連合会理事長  
2002年より 東京日本橋法律事務所代表 (現)

(その他)

民事調停委員  
人権擁護委員  
学校法人守屋育英学園 (関東第一高等学校) 理事長  
江戸川法曹調停会会長  
社団法人東京都建築士事務所協会理事

### ロータリー歴

1973年8月 東京江戸川ロータリークラブ入会  
1989~90年度 東京江戸川ロータリークラブ会長  
1992~93年度 第2580地区環境保全委員長  
1994~95年度 第2580地区米山奨学委員長  
2000~01年度 第2580地区東分区ガバナー補佐  
ポール・ハリス・フェロー  
ベネファクター  
米山功労者



## 豊島東ロータリークラブとバギオ基金

(前号より続く)

バギオ基金の発端は、フランシスコ修道会のシスター海野 (海野常世) さんの呼びかけで始まったことはよく知られている。シスターは昭和5年、東京豊島師範の卒業で学校生活を池袋で送った。約40年の教育畑の仕事に従事したが、幼稚園長を60才で定年を迎えた後、マニラに赴任し、たまたま訪れたバギオで日系人の悲惨な生活を知り、「何か私にできることはないか」と問いかけたところ、異句同音に「子供を何とか学校に行かせ、教育を受けさせてやりたい」との声を聞き、日本からの遺骨収拾団の人達を通じ、また自身来日して、ロータリークラブで奨学金の寄附をお願いするなどしてその輪を広げ、今ではバギオ基金から奨学金を支給した子供たちは3029名 (高校生1670名、大学生1422名) に達している。

この奨学金は「財団法人北ルソン比日基金」、バギオロータリークラブ、バギオサマーキャピタルロータリークラブを通じ、選考された子供たちに支給されるが、毎年バギオ訪問の際に贈呈式を行ない、各学校にその子の奨学金であることを明確にして誤りのないようにしている。毎年その結果を報告書として各団体から受取ることとしている。更に奨学生との交換会、家庭訪問を通じて親近感を深めている。

バギオ基金の活動の受け皿として、その中心になっているのが「財団法人北ルソン比日基金」の会長カルロス寺岡さんと妹のマリエさんである。二人は戦いの激しくなったバギオから脱出の際、米軍の爆撃で母親と二人の妹と弟を失い、また長兄はスパイ容疑で日本軍に、次兄はフィリピンのゲリラに殺害されるなど悲惨な境遇にあった。戦後、収容所から日本に帰ったが国籍もなく、安住の地を得られず、再び二人は比国籍を得てフィリピンに戻った。カルロス寺岡さんの苦労はその後も続くが、今、日本大使館のバギオ名誉総領事として、シスター海野なき後の遺志を受けついで、日系フィリピン人の世話をを行っている。バギオ基金が順調に推移してこられたのもこの二人の献身によるところが大である。

一昨年から現地での奨学生のほか、日本に留学生を迎えることになり、これまで7名の留学生が敦賀短大で看護・介護の勉強を行なっている。短大の好意、地元ロータリアンの好意で勉学、実習、アルバイトなどのお世話になっているが、最大の問題は日本語の習得であり、現在では来日前に、バギオで日本語の特別教育の場が設けられている。

第32回のバギオ訪問は、平成23年2月10日から4日又は5日間となっており、百聞は一見に如かずの諺通りで、是非参加をお奨めしたい。